

布和里

復活版第1号：2018年10月

発行：布田地区編集チーム

編集：西原村役場 震災復興推進課

- 主 ★区長の挨拶、龍王社相撲大会 … P 1
 な ★工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ … P 2
 記 ★工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ … P 3
 事 ★編集員紹介、年表の作成ほか … P 4

地震前まで布田地区で長年親しまれてきた地区だより「布和里」。震災から約2年半を経て、西原村の中で震災被害の大きかった布田地区を含めた6地区では、工事とは別に、新たな一歩に向けての取組みが始まっています。各集落のいまを伝えるお便りもそのひとつです。布田地区では、このタイミングで「布和里」を復活させ、布和里の第1号が発刊された2004年当時の地域づくり委員の皆さんが布和里に込めた想い、「布田が和やかな里になりますように」を受け継いでいきたいと思ひます。今後、編集チームのメンバーが布田地区のみなさんにお話を聞きに行った際には、ご協力をよろしくお願いいたします。またこの話を取り上げて欲しい内容や情報を編集メンバーに気軽に言っていただくと幸いです。

区長の挨拶



布田区長 丹波篤

熊本地震から二年五ヶ月が過ぎました。これまでの全国からのご支援と多くのボランティアの方々の協力に感謝しています。今後も引き続き、復旧復興を布田地区の皆さんと心を合わせて、安全で住みやすい集落づくりを目指して一歩ずつ前進させていきたいと思ひます。

布田地区再生委員の紹介

- 内田敏則 (布田地区委員長)
 今村武人 (下布田委員長)
 丹波篤 (下布田副委員長)
 首藤和広 (上布田委員長)
 坂田道男 (上布田副委員長)

これから工事が始まる中で、住民の皆さんとの調整をさせていただきます。布田地区は世帯数が多いこともあって各地区の代表者の皆さんのみを掲載させていただきます。

龍王社相撲大会

9月23日(日)龍王社奉納相撲が行われました。

保育園児から小学校6年生までの男女合わせて約20名が参加してくれました。本来は男子だけの相撲でしたが、子どもの減少に伴い女子も参加するようになりました。

土俵に上がって取組みを行う子どもたちの姿に、勇ましさを感じつつ、日ごろの相撲離れを感じるひと時でもありました。

龍王社相撲大会は、見に来ていたおじいちゃんの祖父の代にはすでに行われていたようで、当時は他の地区の大人が参加したりして賑わっていたそうです。

帰りには「おにぎり」が振舞われました。昔「おにぎり」を握るのは男性の役目だったそうです。「おにぎり」の形は「三角おにぎり」だと角があってケガをするので「丸いおにぎり」が振舞われます。

布田地区に残していきたい行事のひとつです。



●記録集

皆さんの震災の記憶を風化させないために震災から現在までの住民目線からの震災と復興に関する記録を取りまとめます。作成のため、役場から委託を受けたコンサルタント会社の方が、皆さんに、1時間程度お話を伺います。

●リーフレット

各集落の特徴をまとめ、地区の方々が集落に関する情報を共有・再認識するための冊子を作成します。また同冊子は、西原村に関心を持った人との交流を育むため、西原の魅力や村内外に発信すると同時に、「こたーん」希望者に集落の概要を知ってもらうためにも利用したいと思ひています。同冊子は、活気ある布田地区の集落づくりの一役を担うことが期待されます。

●地区だより

各地区の復興への歩みや復旧工事の進捗状況、今後の予定などについて、行政と住民が工事に関する情報を共有するために定期的に地区だより(布田地区は「布和里」)を発行します。布田地区の地区だよりでは、リーフレットに掲載する情報や集落内のイベント情報などを掲載する予定です。

編集チームのみなさんを紹介

集落の震災記録誌の手伝いやリーフレットの作成を行います。



林田るみ(左)
 運命で西原で生まれ育ち、縁あって西原の方と結婚し、仕事をさせて頂いております。この企画活動が後世へと繋がるページが出来るよう携わっていただけたらと思っています!!

西川美幸(中央)
 西原村布田生まれですが、結婚して10年近くは布田を離れていました。実家の隣に家を構えて20年になります。

東田真奈美(右)
 西原に住んで21年になります。夫と私と県外に行っている長男・長女と次男の5人家族です。

※円内の写真は13年ほど前の皆さんです

編集チームの考える布田地区の魅力

- 布田地区は8つの組に分かれていますが、ひとつにまとまりのある地区です。だれもが顔見知り、賑わいのある区です。(林田)
- お祭り等は住民皆で歌あり踊りあり、飲んで騒いで盛り上がります。子供会、消防団、老人会、サロンなどそれぞれの活動が活発です。区役や1年に1回の山焼き、皆さん汗水流してがんばっています。(西川)
- ひとの輪の中に入っていくのが苦手な私は、西原村に嫁いで組に入り、いなかの仕来りを学ぶ(イメージ)ことになりかなりビビってました。ところがいざ行ってみると、私のイメージとは全く違い、本当に自然にその輪の中に入って大笑いをしている自分がいました。下東組の集まりの居心地の良さに、ついつい話が盛り上がり毎回遅くまでお邪魔してしまいます。たのしくて、あたたかい下東組のひとが大好きです。(東田)

復興への歩みをまとめた年表を作成!

編集チームで熊本地震から今までの出来事や活動をまとめた年表を作成しました。

今回は29日からはじまる震災の記録集作成に向けた聞き取り調査時に使うアイテムとしての年表なので、非常に簡単なものですが、集会所に展示しています。今後、来年3月頃には、みなさんの記録を基にしっかりした年表を作成するつもりです。



むらこのよみ

●11月4日(日)

12時〜布田公園

●布田地区秋祭り

※雨天時は11日に延長
 12時〜布田集会所

●布田地区敬老会

※イベント等の情報をお待ちしております。

「こちら」編集部

記録集の作成について、9月下旬より順次、各集落の記録集作成にもなう聞き取りが始まっています。布田地区でも9月29日から始まっています。
 「コンサルタントの方が、震災から約2年半を経る中で、最も印象に残ったことを中心に各世帯にお話しを伺いますので、協力の程よろしくお願い致します。」

皆さんから、「布和里」に関する色々な意見アイデアをお待ちしております。よろしくお願ひいたします。また、編集チームのメンバーになって、布田地区の再生や情報発信を行いたい方は気軽に「ご連絡ください」。一緒に布田地区を盛り上げていきましょう。

取材/西川美幸、林田るみ、東田真奈美

工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ

布田集落は、上布田、下布田、2つに分けて工事の発注を計画しており、11月上旬の発注を目指して設計及び積算作業を行っています。

●用地測量

- 道路を拡幅する箇所や移転用宅地について、用地を分筆し買収するため、測量を行います。
- 測量の準備として、公図や登記簿等の資料収集を進めており、移転用宅地の設計が完了した後、順次現地作業を進めます。



上布田地区（北西側）については、道路の幅員を見直し、道路と擁壁の設計を進めています

●滑動崩落対策工

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、地盤にセメントを混ぜて固めるなどの対策を行い、地震に強い宅地にします。
- 9月に設計が完了し、現在工事発注の手続きを進めております。手続きが整い次第工事発注し、その後工事が始まります。



上布田地区（北東側）については、砂防工事が終了した後、道路を整備する予定です。

●擁壁工、補強工

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、その対策を行い、擁壁を復旧します。
- 9月に設計が完了し、現在工事発注の手続きを進めております。手続きが整い次第工事発注し、その後工事が始まります。



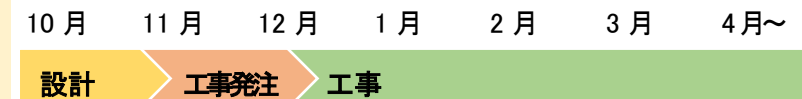
●移転用宅地造成

- 9月で設計が完了し、その後工事発注となります。



●道路工

- 現在設計を進めており、その後工事発注の手続きを行い、工事発注となります。
- 工事中は一部の区間で通行止めが想定されるため、みなさまの住宅や土地への出入りに支障がないよう迂回路の確保や施工手順を検討します。



移転用宅地

一部の箇所では、引き続き擁壁工の設計を進めています。

県道沿いの擁壁については、県との協議を進めています。

	設計中	発注準備中	工事中	工事完了
滑動崩落対策工	赤線	黄線	緑線	青線
擁壁工、補強工	赤線	黄線	緑線	青線
道路工	赤線	黄線	緑線	青線
移転用宅地造成等	赤線	黄線	緑線	青線